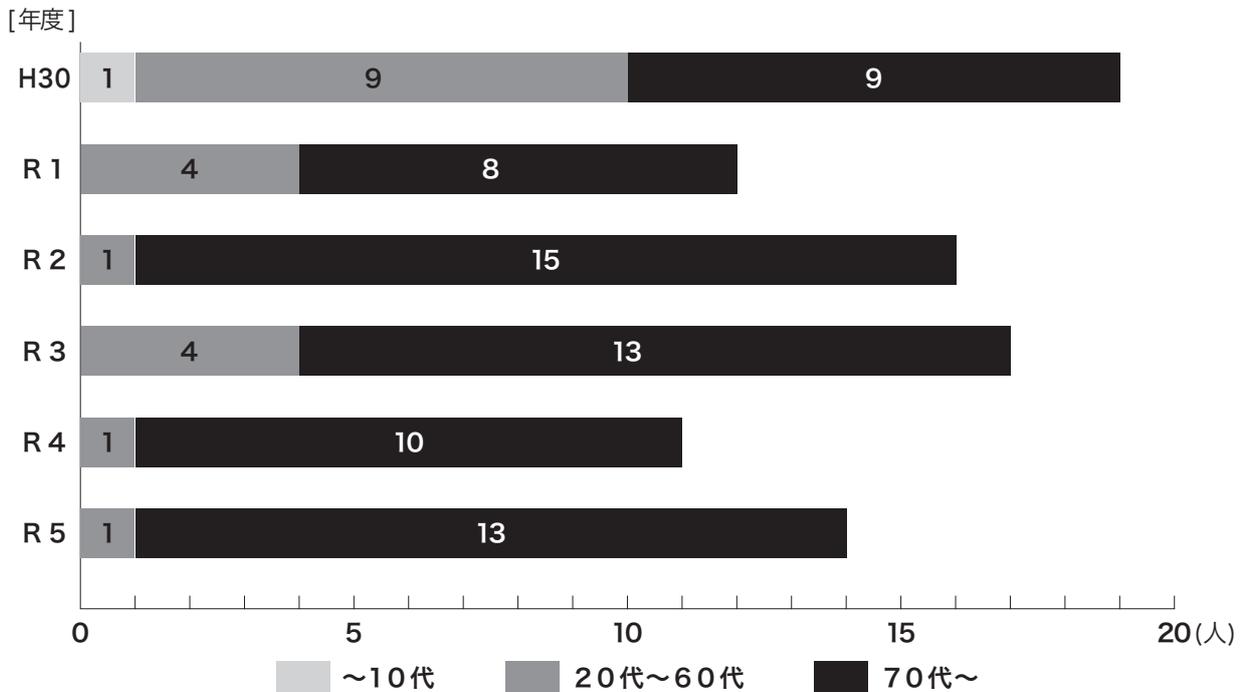


毎年9月24日～30日は結核予防週間です

結核は、今なお全国で年間1万1千人近くの新たな患者が発生し、およそ2千人が亡くなっている重大な感染症です。鳥取県東部においても毎年新たな患者が発生しており、そのうち半数以上は70歳以上の高齢者です。

しかし、結核は早期発見すれば、通院・服薬治療で治ります。

【鳥取県東部圏域】新登録患者数 推移 (潜在性結核感染症を除く)



次のような症状があるときは、できるだけ早くかかりつけ医を受診しましょう!

- 咳が2週間以上続く
- 息を吸うときに胸が痛む
- たんがよく出る、たんに血が混じる
- 微熱、体がだるい、急に体重が減る

● 高齢になるほど自覚症状が乏しくなり、結核だとすぐに分からないことがあります。65歳以上の人は、症状がなくても年に1回は結核検診(胸部エックス線検査)を受けましょう。

本町では、結核・肺がん検診として住民健診を行っています。特に高齢者は結核発症の危険性が高いと言われています。毎年受診するよう心がけましょう。

[結核・肺がん検診の受け方]

町内では智頭病院または、11月2日(土)、12月23日(月)実施の集団検診で受けることができます。その他、鳥取県東部の医療機関でも受けることができます。実施医療機関については、がん検診の受診券に同封された案内をご覧ください。



問合せ先 保健センター福祉課 保健師 ☎ 75-4101